

## 今号の読みどころ

議員団レポート…議員団レポート（日立市、北茨城市、ひたちなか市、熊谷市、甲斐市） P 2~3  
議員団レポート…議員団レポート（静岡市）、幹事長の主張 国民の期待に応え得る政権運営を！  
大畠衆議院議員・国政レポート…大畠衆議院議員国政レポート

# 参院選勝利で みんなの生活とふる里を守るう！

## 問題解決に向け全力で取組む

鳩山政権が誕生して、8ヶ月が過ぎました。平成22年度予算も無事成立しました。しかし、皆さんのご期待を頂き誕生した鳩山政権ですが、「政治とカネ」の問題や「普天間問題」で、ご心配をおかけしている事に対してお詫び申し上げます。現在、「企業団体献金の禁止」や、沖縄の方々の立場に立ち負担軽減の方向で問題を解決するために全力で取組んでおります。これからも「税金の無駄遣い」をやめ、「地域社会」と「国民生活」を再建するために全力を挙げて取組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## さらなる成果をあげるために

さて、そのような中で鳩山政権の半年間の実績と評価について、週刊朝日「民主党チェンジ・実はジワリ進んでいる」（4月16日号）の記事を目にしました。

たしかに公共事業費を18%削減する一方で、「コンクリートから人へ」という思いの中で、教育の予算5.2%増、社会保障9.8%増などの予算を実現する事が出来ました。

したがって、自民党政権では成しえなかった事を鳩山政権で着実に実現している事は事実です。また、現在、参議院選挙用の「政権公約」を策定するために、3つの政策研究会を立ち上げています。私は「成長・地域戦略研究会」を担当し、皆さんのご協力を頂きながら「デフレを克服して成長を促す政策」を中心に精力的にとりまとめ作業にあたりました。

## デフレを克服し、成長を促す

バブル崩壊後、先進国中で日本だけが長期デフレの状況が続き、「小泉改革」による「格差」と「貧困」の増大がもたらされ、社会の安定基盤であった中間層が崩れつつあります。また、地域の都市や農山漁村も深刻な経済衰退が続いており、グローバル化に伴う国際

的な事業環境の変化への対応が遅れ、これまでの日本経済を牽引してきた輸出産業を中心とした日本企業の競争力が著しく低下しています。その結果として政府では税収が減り、社会的には高校・大学の卒業生の就職率も80%台と氷河期に突入しました。

このような状況下において、政府と民間（企業、生産者、NPO、市民など）が連携協力して地域の底割れを防ぎ、「地域主権・ネットワーク関係」「バイオマスなど地上資源の循環利用」「日本の独自技術などの世界ブランド化や世界標準化」を追及し、「持続可能な循環型社会」を構築する事が必要です。

特に、①食料・エネルギーの自給率向上、②農林漁業・中小企業、環境・エネルギー・健康など新たな成長産業を創出③もの・サービス・人材の交流を通じて外需を獲得④科学技術、情報通信、人づくりなどの成長産業の基盤を整備⑤雇用の場の拡大と雇用の安定を図る・・・事などを基本に厚みのある中間層の復活を図り、「デフレ」を克服し、「成長」を促す諸施策を強力に展開しなければなりません。

厳しい情勢下にあります。みなで力を合わせ、参議院議員選挙に勝利し、みんなの生活とふる里を守りましょう！どうぞよろしくお願ひ致します。



日立グループ議員団会長衆議院議員  
大畠 章宏



## 高機能急速凍結庫（CAS）を導入

### 水産資源のブランド化を目指して

青木 俊一 日立市議会（日立支部）

日立市の平成20年の水産物水揚量は、平成10年と比較すると約20%減の2,191トンで、金額にして約35%減の7億800万円にまで落ち込み、水産業は厳しい状況にあります。漁業者や漁業協同組合の経営改善のためには、水揚げされた水産物の市場への安定供給と収益の維持向上を図ることが必要です。

このような中、平成21年度に国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金7,600万円を活用し、久慈町漁港へ水産物の加工作業施設整備と高機能急速凍結庫設置（CAS：Cells Alive System）を行ないました。これにより水揚げした新鮮な魚介類をマイナス60℃で急速冷凍し、鮮度を損なわないまま必要な時期に希望するところへ供給することが可能になりました。

CASとは急速冷凍庫内に物理的振動発生装置により微弱

なエネルギーを均一に発生させることで食材の細胞を壊さずに凍結し、解凍時に細胞内の水分を外に出さなくする方式です。この新技術で食味、食感、色合いを保ちます。

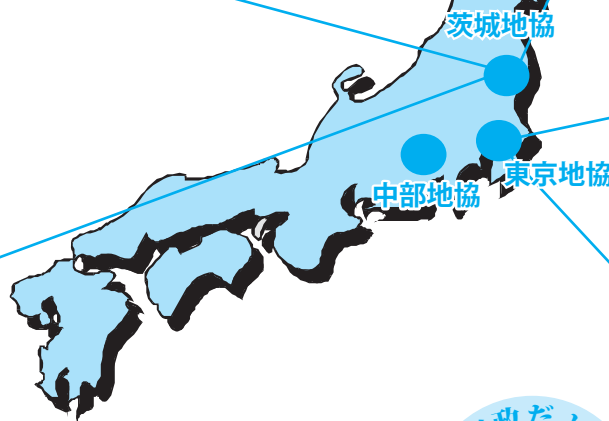
新たな施設は本年2月より稼動し、「日立市のさかな」がブランド品として国内外に認知され、消費拡大につながるよう販売ルートも拡充する予定です。



久慈町漁港にCASを設置

## 議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員のそれぞれの取組みを紹介します



## 北茨城市独自の緊急雇用対策

### 市民の雇用確保に一般財源を充てる

西野 英夫 北茨城市議会（日立支部）

平成20年度末からの急激な雇用情勢悪化を受け、平成21年度の北茨城市内公立高校卒業予定者の就職内定率も低迷しました。そこで、市は今後、成長分野として期待される「介護」「医療」「農林水産」「環境・エネルギー」「観光」「地域社会雇用」の6分野において、新たな雇用機会の創出と人材育成を目的に『重点分野雇用創造事業』と『緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業』を予算化しました。

『重点分野雇用創造事業』は、市が民間企業等に対し、1年間限定で雇用してもらい、その雇用経費は市が負担する事業です。対象者は、高校、短大及び大学の卒業予定者ならびに失業者。採用予定は50名程度。受託事業者は、19社（介護6、観光6、環境3、農林水産2、地域社会2）で、予算額は1億2,500万円です。

『緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業』は、市役所内の業務支援（国勢調査補助、特定検診受診促進、不法投棄廃棄物処理、中郷子どもの家施設運営、ふるさと活性化事業など）をする雇用を確保する事業で



一般質問で議場に立つ西野議員

す。採用予定は46名。予算額は6,940万円です。

このように、市民の雇用確保に一般財源を充てる施策を提言してきたことが、現実となりうれしく思うとともに、逆に、このような施策を市町村で考えなくてすむような安定した日本経済になれるよう、地方から支援していきたいと思えます。

市政だより



## ひたちなか地区に新たな広域商業施設が進出

### 魅力的な地区として更なる発展が期待される

牧野 米春 ひたちなか市議会（日立工機）

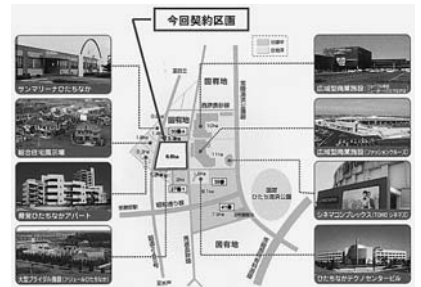
茨城県ひたちなか市の「ひたちなか地区」は、産業、人・物の交流拠点として発展しています。

今般、県土地開発公社は同地区の保有地約6.6haの土地譲渡契約を締結し、新たな広域商業施設（名称：「ウエルサイトひたちなか」（仮称））の進出が決まりました。

同地区には、平成10年に「ジョイフル本田ニューポートひたちなか店」がオープンし、豊かで快適な暮らしが実感できる生活文化提案型のホームセンター・ガーデンセンター・ペットセンター・増改築センター等を開設しています。さらに、平成17年にシネマコンプレックス、18年にはアパレルを中心に100店を超える店舗で構成する「ファッションクルーズ」を開設し、衣・食・住・遊を兼ね備えたショッピングセンターとして、年間約900万人が来場する北関東最大級の商業施設となっています。

契約区画への出店予定施設は、家電量販大手の「ケーズデンキ」、家具・インテリア用品の「東京インテリア」、衣料品の「サン

キ」、食品スーパーの「サンユーストア」で、工事着工が本年5月、開業は12月の予定です。これにより、同地区は新たな活力と賑わいのある交流拠点として更なる発展が期待されます。



更なる発展が期待される「ひたちなか地区」

日新クラブ議員団は、同地区の土地有効活用が市の発展に繋がるとの考えで、一般質問や委員会ですべて訴えてきました。今後とも、市民や来訪者がひたちなか市の良さが実感でき「誰もが暮らしやすいまちづくり」の実現のために提言していきます。

市政だより



## 平成22年度予算案が可決

### 子どもたちのために限られた財源を有効に活用

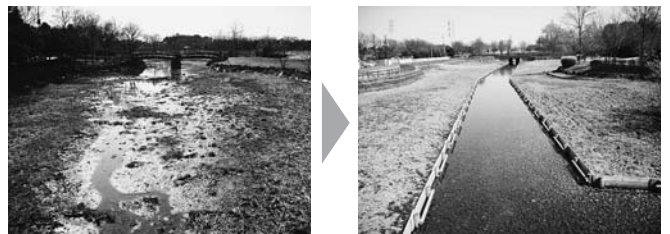
松本 貢市郎 熊谷市議会（日立金属熊谷）

3月定例議会において、平成22年度予算案が可決されました。平成21年度対比で、一般会計は16億円（2.88%）増の571億円、特別会計は3億7,500万円（7.93%）の減、水道事業会計を含めた総計は、6億1,200万円（0.66%）減の919億7,000万円となりました。

市税は、21年度に比較して、△2.06%の減（金額で、約6億500万円の減）、国庫支出金は21年度に比較して、57.9%の増（金額にして、約25億4,000万円の増）となっています。

- ・長引く経済不況の影響を受け、法人市民税を始めとする、市税収入の影響が続いています。
- ・国庫支出金が増加した要因は、国の施策である、子ども手当の交付金などが増えた影響です。
- ・歳出をみた場合に、熊谷市においては、民生費が21年度に比較して、17.06%の増（金額にして、約31億円の増）となっており、

少子高齢化社会及び長引く不況の影響が顕著であると考えます。平成22年度主要事業については、限られた財源を有効に活用し、真に市民のための施策になっているか真摯に向き合っていくと考えています。



県・市の水辺再生事業で再生された別府沼公園

市政だより



## 甲斐市のシンボル「竜王駅南北駅前広場竣工」

### 地域の活性化の中心の創出

森田 稔 甲斐市議会（ルネサス甲府）

甲斐市は、平成16年9月の合併により「緑と活力あふれる生活快適都市」を市の将来像に掲げ誕生したところです。

街づくりを進めるにあたり、竜王駅周辺整備事業は新市の将来構想第一次甲斐市総合計画において重点プロジェクトとして位置づけ、整備を推進してきました。

合併後の課題でありましたJR中央線で分断された市街地を結ぶ竜王駅南北自由通路と橋上駅舎は、平成20年3月24日に供用開始されており、今回の竜王駅南北駅前広場の竣工を持って合併を契機に着手した竜王駅周辺整備事業は完了しました。

この竜王駅は、新たな市のシンボルとして市民の利便性向上を始め、「観光、情報、緑」の拠点として期待されています。

竜王駅南北自由通路と橋上駅舎、南北駅前広場と周辺道路整備の景観は、世界的に有名な建築家「安藤忠雄」さんの設計監理のもと整備が行なわれ、設計のコンセプトには、甲斐市の自

然、歴史、地形がデザインに取り入れられています。

南北駅前広場は、敷地全体を大屋根で覆い、この下には通勤通学者をはじめ県内外の来訪者を出迎えるロータリーとして送迎場、タクシー・バス乗り場、駐輪場が設置されています。

この事業は国、県の交付金で進められたもので総額96億円を投資しており今後の利用状況と街づくりが問われるものと考えます。



現在の竜王駅



行政の「戦略」用語を考える

単純明快な目標が必要

田中 敬五

静岡市議会（日立A P空調）

議員活動レポート

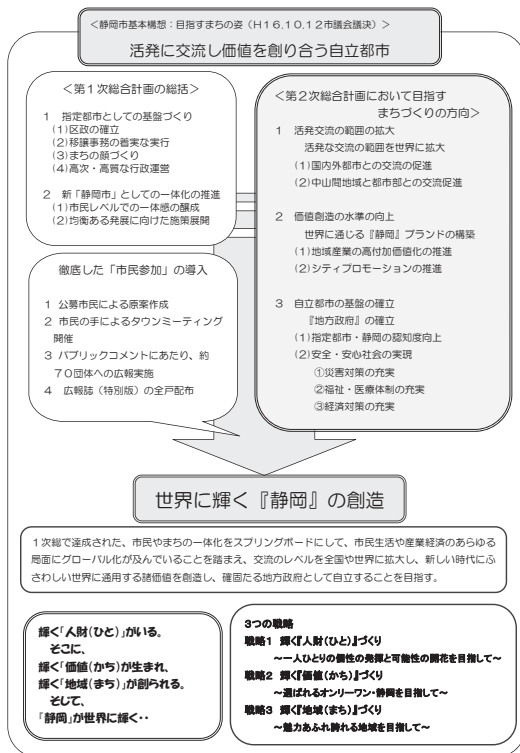
日立グループ議員団所属議員のそれぞれの取組みを紹介します



いくつかの大型事業が進められていますが、今回は行政用語として最近さかんに使われている「戦略」という言葉を考えてみたいと思います。静岡市では合併・政令市から5年が経過し、新しい第2次の総合計画が4月にスタートしました。

この計画の中でも「まちづくり戦略」「戦略プロジェクト」などの形で表現されています。他の分野別計画でも「観光戦略」「戦略広報」など「戦略」という用語が氾濫しているような気がしてなりません。言葉のひとり歩きが錯綜し市民が理解できるものではなく、国も県もその傾向が強く戸惑うばかりです。

「戦略」用語の解釈も様々であるが、はっきりしていることが2つあります。1つは「相手がある」ということで、2つには「単純明快」でなければならないと私は捉えています。相手に勝つことが「戦略目標」であり、勝つためにはどうあるべきかが「戦略テーマ・計画」であり、そして市民との協働を考えるならば「単純明快」でなければなりません。相手とは他の都市であり「都市間競争に勝つ」ことです。私が提起している戦略目標は「日本一の安心・安全都市」であり、これの分野別計画への反映です。



国民の期待に応え得る政権運営を！

鳩山政権が編成した初の当初予算である平成22年度予算が可決・成立しました。子ども手当や高校授業料の実質無償化など民主党が掲げた政権公約（マニフェスト）がいよいよ実行に移される段階に入りました。

その一方で「政治とカネ」をめぐる問題や普天間基地問題、郵政改革への対応のまずさなどから内閣支持率は急激に悪化、新政権に対する国民の評価は期待感から失望感へと極めて厳しいものへと変化しつつあります。

特に、長引く景気低迷の影響を受けて国や地方自治体の税収が激減する中、子ども手当をはじめ民主党が打ち出した政策の実現を疑問視する声や否

定的な意見が出ていることは大変残念に思います。

しかしながら、国民の多くはけして「官僚依存からの脱却」や「税金の無駄遣いの根絶」など民主党が掲げた政治姿勢そのものを否定していません。

国内外ともに行政課題が山積している今、鳩山政権には国民に約束したマニフェストの着実な実行を基本に環境変化に対応した大胆かつ実効ある政策の推進と国民の期待に応え得る責任ある政権運営を求めたいと思います。

本年7月には参院選が予定されており、比例区で電機連合出身の参議院議員「加藤としゆき」が2期目の挑戦をします。



幹事長の主張！  
日立グループ議員団幹事長  
秦野市議会（神奈川支部）  
山口 金光

昨年の衆院選で政権交代は果たしたものの民主党の政権基盤をより強固にするための重要な選挙となります。「加藤としゆき」候補および各選挙区での推薦候補の必勝に向けて皆さまの絶大なご支援とご協力をよろしくお願い致します。

当選御礼

下松市議会

栃木市議会



いそべ 孝義

千葉 正弘

皆さんの絶大なご支援のもと、当選を果たすことが出来ました。深く御礼申し上げます。

ものづくり日本！

日立グループ議員団は電機産業の代表、加藤としゆきさんを応援します！

電機連合公認  
次期参院選予定候補

加藤としゆき

